とうきょう　すくわくプログラム
2024年度活動報告書

板橋雲母保育園 高島平

テーマ【　　心と身体の健康　　】

設定した理由・背景

毎日の体操やリズム運動など、自園の子どもたちが最も興味関心のある音楽について、触れる機会を増やしたいと考えたため。
日々の保育や活動より体力が付いたことで、子どもたちは散歩で何歩、歩いているのか気になり、調べることにした。

用意した環境設定

スマートフォン、SDカード、ケース、ストラップ、スクリーン、万歩計、バランスストーン、リトミック講師、マット、人体模型

活動のあゆみ

〇1月30日（木）リトミック活動当日
〇2月26日（水）冬の運動会
〇3月25日（火）お別れ遠足当日
〇3月31日（火）人体模型玩具の解体と組み立て

❀探究活動の実績❀

①心と身体の健康について「どのような状態が心の健康と言えるか」「健康に保つ為には身体の仕組みを知ったり数値で分かることに興味はないか」と問いかけた。
↓
②子どもたちからは「たくさんご飯を食べる」「いっぱい遊ぶ」「いっぱい笑う」「歌ったり、踊ったりする」等の答えが返ってきた。その中で日々の保育でも関心が高い音楽について、まずは毎月のダンスを決めて、担当の保育者が月替わりで新しい曲でダンスを踊り、音楽に親しみを持てるように働きかけた。しばらくすると子どもたちから「次は何？」「〇〇踊りたい」とリクエストする子も増えてきた。それと同時に、保育者がTDLに行った際に歩いた歩数を話したところ、「どうやって数が分かるの？」子どもから質問があり、万歩計についてを子どもたちに話をして、実際に触ってみた。
↓
③子どもたちからのリクエストに応えて選曲するようにした。そうすることで子どもたちの興味・関心は高くなった。また、万歩計を活用し、少し遠い公園まで往復するとどのくらいの歩数になるのか調べる日を決めた。
↓
③新しい曲の導入と振り付けを考え覚えたり、歌う事への活動に参加していた。積極的に前へ出て踊りを披露する子どもがいた。リトミック講師がどのような人なのか、楽しみにするような会話が子ども同士で見られた。消化や身体の仕組みにまつわる話を、保育者や友だちと行っていた。万歩計での歩数調べは友だちとどのくらい歩けたのか話し合っていた。バギーを用いて自然探索や場所見知りを減らすキッカケとなった。
↓
④リトミック講師とのやり取りも見られ、質問に答えたり踊る、歌うなど乳幼児を問わず楽しむ様子だった。万歩計で知り得た歩数の目安や必要な体力について、小学校や次の年度へ自信を持てるようになった子どもがいる。身体の臓器や機能については難しい様子だったが、興味は深まる姿が見られた。新しい場所へ慣れたことで、活動を楽しむ時間を十分にとることが出来た。

振り付けを踊りながら歌う様子と、楽器を持って音楽に合わせ、奏でる様子

万歩計を身に付けて遠い公園へ遠足に行く様子

給食フェア運動会より、食べ物が消化されるまでのサーキットで競技に参加する様子

人体模型の玩具を使って体の内部を知る様子と図

まとめ

〇子どもの姿・・・初めは緊張する様子が全体的に見られましたが、次第にリトミック講師の方とのやり取りも見られ、クイズやインタビューに答えていました。全クラスで楽器を回しながらリトミックに参加したり、園内で練習してきた振り付けと同時に歌も歌いながら楽しむ姿が見られました。全体的に身体の仕組みや消化について興味を深めることが出来たり、様々な運動方法や動きと遊びに展開が持てるような姿が部分的に見られた。活動内での連続性を持った遊びへの参加も見られました。

〇来年度に向けて・・・リトミックや楽器を通して、様々な形で音楽に触れながら活動に取り入れていきます。心と身体の健康は引き続き調べたり、継続する子ども達の興味も更に深めていけるような時間を設けていきます。また、乳児でも新たな散歩先へ行き、子どもの興味関心を引き出したり五感を育むことが出来るようにしていきます。

とうきょう　すくわくプログラム
2024年度活動報告書
板橋雲母保育園高島平園

テーマ【自然】

設定した理由・背景

●自然や生き物に触れ合う中で、園児の興味・関心を探り、生きものの成長の仕組みや園周辺環境との違いなどを探究する

用意した環境設定

バギー
クレヨン
油性ペン
画用紙

活動のあゆみ

〇１月～３月　バギーを使用して自然散策

❀探究活動の実績❀

①幼児クラスはお散歩先の植物を見て「ねぇ、これはなんていう名前なの？」など植物に関しての質問の声があがることが多かった。乳児クラスに関しては歩行がまだ安定していない子も植物に興味を持ち、触れる様子が度々見かけられていた。
↓
②バギーに乗り、遠方の公園に散歩に行く。
自然物を見つけて、触れながら種類や感触を知る。乳児クラスは特に何度もふれあいを繰り返すことで恐怖心が徐々になくなり、自ら植物に触れられるようになった。幼児クラスは名前を知ることで、親近感が沸き、また新しい草花を探すようになった。↓
③園に持ち帰り図鑑や図書館で調べたり、模写に取り組んだ。

バギーに乗って散歩へ行く様子

まとめ

〇子どもの姿・・・色んな場所に出向き、色んな種類の草花に触れあうことで子どもたちの関心は高まり、道花に咲いた草花を指さしたり、手に取り嬉しそうにお土産にするとポケットに入れて帰る姿も見られた。
〇来年度に向けて・・・引き続き色んな公園に行き、様々な植物に触れあう機会を作っていく。また、そのあと必ず制作や振り返りに取り組みながら理解や興味を深めていく。